

選定会議の概要

【これまで】

環境、経済性、防災などの客観的な観点から候補地を絞り込んだ後に、地元にご理解いただく手法



候補地断念の教訓を生かして

【今回】

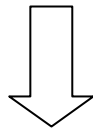
施設の安全性や必要性をご理解いただいた上で、地元で了承された候補地を、地域振興策と併せて3市村から推薦いただき、その後、1か所に絞り込む手法

新たな建設予定地選定の流れ

地域の皆さまと市・村の話し合い



- ・施設の整備課題
- ・地域の課題
- ・地域の魅力づくり など



自治会・区等の了承をいただいたうえで、市村から広域連合に候補地を推薦（10月11日まで）

関係3市村長からなる「選定会議」を広域連合内に設置し、総合的な判断により、1か所の建設予定地を選定（地域振興策についても費用負担を含めて協議）



絞り込みに必要な情報

- ・経済性 …土地造成費用、収集運搬費用など
- ・インフラ整備 …冷却水の確保 など
- ・防災 …災害履歴、活断層の状況 など
- ・自然環境 …希少野生動植物の状況 など
- ・文化財保護 …埋蔵文化財の分布 など
- ・施設整備 …施設整備に向けた留意点 など
- ・地域振興策 …地域振興策の内容や背景 など
- etc…（必要に応じて追加）

候補地の現地見学

地元住民代表の皆さまのご意見

学識経験者からのご助言

行政情報の収集・精査

建設予定地を決定

- ・循環型社会形成推進地域計画の見直し
- ・同交付金の申請手続き